

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	演劇祭の開催					所管	文化産業観光部	
							文化振興課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	39	計画事業名	演劇祭の開催	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 平成22年度	
		[小 柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進					[終了予定] - 年度	
		[施 策] ③観光資源の活用と拡充						
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	「したまち演劇祭」事業費助成金交付要綱				
	事業対象	一般区民及び来街者、演劇関連団体						
	事業目的	下町らしい特色ある会場での公演や、参加して楽しめる体験ワークショップ、地元中高生によるステージなど、区民が身近に演劇に触れ合える機会を提供することで、地域に根ざした舞台芸術文化の振興を図る。また、大衆芸能発祥の地である台東区の特徴を活かした企画を一層充実させ、さらなる本区の魅力の発信に取り組んでいく。						
	事業内容	開催期間の8月18日(火)～9月21日(月・祝)までの5週間、木馬亭や浅草花やしきなど、普段は演劇に使われない歴史と特色のある会場において、公募による劇団の公演を行なった。また、演劇を実際に参加して楽しめる体験ワークショップ、地元中学・高校演劇部の生徒によるステージなど、地域に根ざした舞台芸術文化の振興を図る演劇祭である。公募公演(7団体)、企画公演(4企画)、体験ワークショップ(3教室)、提携公演(4団体)、その他関連イベントを実施した。						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	プログラム数	(本)	21	19	21	20	
		会場数	(会場)	20	15	23	21	
	成果指標	来場者満足度	(%)	98.0	96.0	97.0	97.0	
		来場者数	(人)	130,000	119,277	117,654	132,029	
	決算額 (単位：千円)				16,810	17,917	17,378	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			10,226	10,202	9,624	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			16,810	17,918	17,379	
		総経費			27,036	28,120	27,003	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源(区負担額)			27,036	28,120	27,003		
前回評価から改善した事項	従来の「高校生ステージ」に新たに区内中学校の参加を加え、「中高生ステージ」として開催。また、4月に開設した「たなか舞台芸術スタジオ」を公募劇団の稽古場、体験ワークショップの会場として活用するなど、地域に根ざした舞台芸術文化の向上に資することができたといえる。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	来場者数は例年10万人を超え、回を重ねるごとに増加しており、事業の必要性は高まっている。					
	効率性	3	演劇祭の事業趣旨に賛同した団体からの提携公演としての参加を得られ、経費削減に努めながらプログラムの充実を図ることができた。					
	手段の適切性	3	学識経験者や区内で活躍する演劇人、観光連盟等で構成した実行委員会形式での実施やボランティアスタッフによる運営の協力は地域協働型の事業として適切な方法である。					
	目的達成度	4	アンケート調査から、来場者の大多数が演劇祭について好評価をしている。また、プログラムの内容もさらなる区民参加を図るなど、回を重ねるごとに充実している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持	
来場者数は増加しており、本事業の認知度は着実に上がってきているといえる。また、プログラムの内容も回を重ねるごとに充実しており、引き続き区民参加や地域連携が図れるような企画を磨き上げながら、地域に根ざした舞台芸術文化の振興を図っていく。						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		